

一般会計など10会計の決算は、すべて認定

市議会は、9月定例会を9月4日から29日までの26日間の会期で開催しました。今定例会では、市長から提出された平成29年度一般会計補正予算をはじめ、平成28年度一般・特別・企業各会計決算認定を含む19議案と2件の報告、議員から意見書提出についての2議案が上程され、採決の結果、いずれも原案のとおり可決・認定しました。

また、「白雲荘」を機能移転する方針に関する陳情書が提出され、民生文教委員会で審査した結果、採択しました。

なお、市政に対する一般質問では、16人の議員が市長・教育長の見解をただしました。

◎ 議決した主な議案

平成29年度一般会計補正予算

今回の補正予算は、第2号と第3号が上程され、主に次に掲げる事業のために、1億4300万円を増額するものです。これにより、補正後の一般会計予算総額は、329億8300万円となりました。

△第2号▽（主なもの）

- 職員退職手当基金積立金…1億9000万円
 - 産地パワーアップ事業費補助金
……………5778万円
 - ふじのくに少子化突破戦略応援事業
……………810万円
 - 国県補助額決定に伴う各種建設事業費の変更
……………△1億6548万円
- △第3号▽
- 衆議院議員総選挙及び
最高裁判所裁判官国民審査経費 ……3200万円

条例

● 袋井市休日急患診療室条例の一部改正について
利用者の利便性向上のため、年末年始（12月29日から翌年1月3日まで）の診療開始時間を1時間早めるよう、現在の午前10時から午前9時に変更するものです。

陳情審査

● 陳情趣旨

「白雲荘」の機能を「風見の丘」へ移転させようとする市当局方針は、老人福祉センターの今後のあり方に自ら歯止めをかけるに等しいものである。

「白雲荘」は、多少の不便さはあるものの、優れた景観・環境を備えて運営されているが、移転先の「風見の丘」は面的にも狭く、増築、増設がない限り、白雲荘機能の縮小は明らかである。

明確な高齢者福祉の展望も持たず、財政の効率化を優先させる市民不在の方針は、高齢者福祉施策及び施設の存亡に関わる重要な施策転換である。

● 陳情項目

- 1 「白雲荘」「風見の丘」の両施設は、時間をかけて将来の高齢者福祉施策及び施設のあり方について検討をされたい。
- 2 「白雲荘」の利用者ばかりでなく、自治会連合会など広く市民の意見を聴取されたい。



聖隷袋井市民病院内の休日急患診療室